

ユニオンファンド 月次レポート

第 170 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2023年1月10日作成

MONTHLY TOPIC

「どうせ上がらない」？

下落相場の最初の頃には「そのうち上がる」と思っている、予想以上に不調が長引くと、「もうだめかもしれない」と少なからぬ人が弱気になります。人間は直近までの状態がこれからも続くと思いがちです。それで問題ないこともあります、大きな失敗の元となることもあります。

「株式の死」

新年早々、不吉な言葉で恐縮ですが、これは1979年8月に米国のビジネスウィークという経済専門の週刊誌が掲載した記事のタイトルです。セミナーなどでもよくお話ししていますが、1960年代の半ばから70年代末までの15年ほどにわたって、米国株は上がったり下がったり、いわゆる「ボックス相場」から抜け出せずにいました。

およそ15年も株価が上がらないのを見れば、「何か重大な理由があるはずだ」と思うものです。そこで記者たちは現状を分析し、「これでは上がらなくて当然だ」という様々な理由に行きつき、記事にしたのでしょう。皮肉なことに、そのわずか数年後に歴史的な大相場が始まり、約20年間でダウ平均は10倍ほどに値上がりしたのです。（同誌を少し擁護しますと、「株式の死」からほぼ4年後の1983年には「株式の再生」という記事も書いています。こちらは当たりでした。「めでたしめでたし」と言えるかは微妙ですが。）

なぜ間違ったのか→どうしたらいいのか

同誌の記者たちはなぜこんな大間違いをしてしまったのでしょうか。推測の域を出ませんが、第1に、直近のよくない出来事の分析に力を注ぐあまり、それまでの長い長い株価上昇の歴史を軽視したことが考えられます。身動きが取れなくなったらなんとかして出口を探し出す、といった人類が持つ前向きなエネルギーを見落としたことが根底にありそうです。第2に、現状分析がその瞬間いかに正しかろうと、未来は刻々と変化するものであることを軽視した可能性もあります。未来は現在の延長線上に常にあるわけではなく、いくらでもルート変更がありえます。

あとから振り返れば一本道でも、途中は分かれ道だらけです。可能性や選択肢は無限に広がっているのですから、予想が外れても不思議ではありません。大事なことは、予想することでも、まして悲観することでもなく、人類が前進しようとするエネルギーを信じてみるのではないかと改めて思っているところです。

セミナーのご案内

2月と3月にセミナーを開催します。なかなか利益が出ない今のような時にはどう行動するのが良いのか、わかりやすくお伝えします。最終9ページ目をご覧ください、ふるってご参加ください。お待ちしております。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2022年12月末現在)

基準価額

29,180円

純資産総額

99億76百万円

期間別騰落率(%)

1ヶ月	-4.10%
1年	-6.06%
3年	15.23%
5年	10.64%
10年	107.76%
設定来	191.80%

複利年率(%)

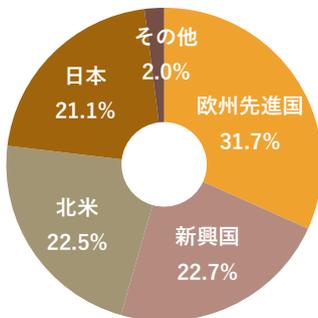
7.83%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

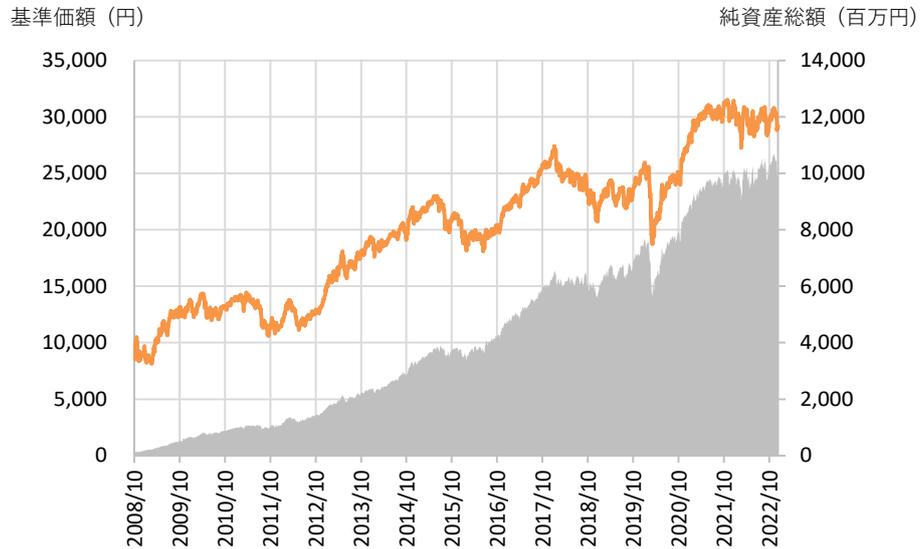
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2022年11月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみF	日本	4.8%	-7.2%
スパークスF	日本	12.4%	-6.4%
キャピタルF	欧米	18.8%	-4.2%
ハリスF	欧米	18.9%	-6.5%
コムジェスト・ヨーロッパF	欧州	11.6%	-5.0%
コムジェスト・エマージングF	新興国	19.6%	-1.3%
現金等	-	13.9%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2022年12月の市場動向と運用状況

投資環境

10月からの約2か月間、世界の株価は回復基調にありましたが、12月は軟調な推移に終わりました。月初は米国でいくつかの景気指標が予想外に強く、金融引き締めへの警戒感が広がったことが重荷となりました。その後、生産者価格指数が予想を上回ると株価はさらに下落し、その翌日に消費者物価指数が予想を下回ると一転して大幅高になるといった具合で、短期間に上下変動を繰り返す荒れ模様の相場が続きました。

中旬に開催されたFOMC（連邦公開市場委員会）では、政策金利であるFF金利の引き上げ幅が0.5ポイントへと縮小されました。0.75ポイントという異例の大幅利上げが4回続きましたので、市場にはやや安堵感も見られましたが、FOMCのメンバーが予想する今後のFF金利のピークが市場の予想水準よりも高かったことから、引き締め路線は堅持されるとの不安が広がりました。

欧州では、一部で景気悪化ピッチの鈍化を示唆する指標もありましたが、インフレは米国以上に深刻な国が多く、ECB（欧州中央銀行）も利上げを実施するなど、逆風はやみませんでした。月の後半には、日銀が突如金融政策を変更したため、日本では10年物国債利回りが大きく上昇し、円は一段高となり、株価は下落しました。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は、株価下落と円独歩高の影響を受け、やや大きく値下がりしましたが、下落率は市場全体よりも小さめでした。これは、市場より多めに保有している新興国株がほぼ横ばいだった一方、大きめの下落となった米国株の保有比率が低いこと、全体の組入比率も抑え気味であること、などによります。

売買は見送りました。月末の組入比率は、大口の換金によって現金が減少した影響で若干上昇し、86.1%でした。

今後の見通し

2022年は、株価が多く国で下落したことの他に、大きな上下変動も目立ちました。背景はいろいろ考えられますが、プラス要因とマイナス要因が併存し対立が続いたことがまず思い浮かびます。

足元ではプラス要因が盛り返しつつあるように見えます。中でも、インフレという非常に大きなマイナス要因が徐々に収まりつつあることと、長期金利がある程度落ち着いてきたことは、重要な改善ポイントと見ています。

一方で、世界の中央銀行の多くは、インフレの水準が依然として高いことを懸念しており、金融引き締めをなかなかやめられないでいます。そうこうするうちに景気は弱くなり、堅調と言われてきた米国でさえも、経済指標のいくつかは景気後退の危険が増していることを示唆しています。こちらは大きなマイナス要因です。景気の悪化は企業業績を悪化させます。業績が悪くなれば株価も下がるのが普通の姿です。

現在は景気後退リスクが残っている状態であり、株価への下落圧力が強いと見ています。このため当面はやや慎重な姿勢を維持する方針です。ただ、業績はいずれ回復に転じ、株価の下落もどこかで止まるものです。これまで同様、今回もそうなるでしょう。市場の不調は、むしろ次の買い増しの機会が近づきつつあることを示していると考えています。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



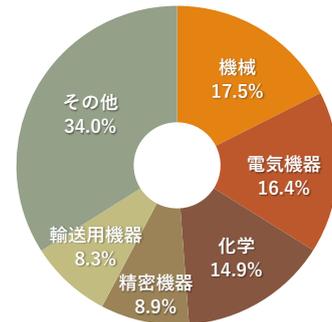
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ダイキン工業	4.1%	日本	機械	エアコン世界首位
2 浜松ホトニクス	4.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
3 信越化学工業	3.7%	日本	化学	塩ビ・シリコンカーボン世界大手
4 プリチストン	3.5%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器(カテーテル)
6 トヨタ自動車	2.9%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
7 日本電産	2.9%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
8 TOTO	2.6%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 花王	2.4%	日本	化学	トイレットペーパー首位
10 ディスコ	2.3%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
上位10銘柄	31.6%	現金等	14.5%	

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2022年12月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



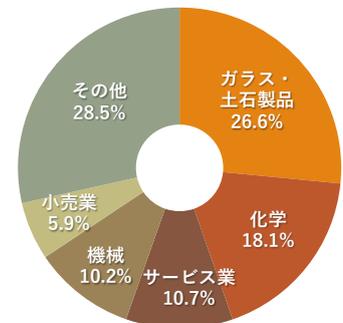
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品(等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
フジインコーポレーテッド		日本	ガラス・土石製品	半導体用研磨材等
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ダイレクトマーケティングミックス		日本	サービス業	営業・マーケティング代行等
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等	4.5%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2022年11月末現在 >

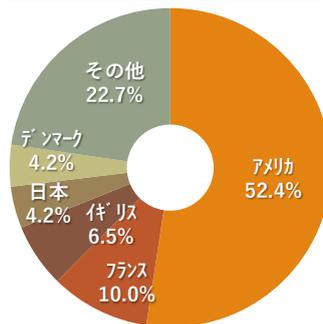
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Microsoft	2.2%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
2 Broadcom	2.0%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 UnitedHealth	2.0%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
4 Novo Nordisk	1.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 Chevron	1.8%	アメリカ	エネルギー	石油メジャー
6 AstraZeneca	1.8%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 ASML	1.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 Apple	1.7%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
9 Safran	1.5%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
10 AIA	1.4%	香港	金融	生保・金融サービス
上位10銘柄	18.0%		現金等	10.2%

業種別構成比



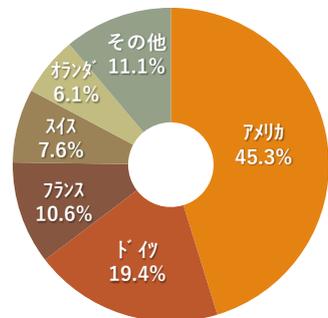
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年11月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



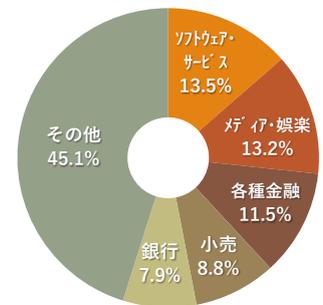
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.5%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	4.2%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 MERCEDES-BENZ	3.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 FISERV	3.7%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	金融機関向け情報処理サービス
5 AMAZON.COM	3.3%	アメリカ	小売	ECサイト、ウェブサービス
6 ALLIANZ	3.1%	ドイツ	保険	総合保険大手
7 SALESFORCE	3.1%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	クラウド型営業支援・顧客管理
8 PROSUS	3.0%	オランダ	小売	インターネットサービス
9 WORLDLINE	3.0%	フランス	ソフトウェア・サービス	取引決済サービス
10 HCA HEALTHCARE	2.9%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	米大手病院経営会社
上位10銘柄	35.5%		現金等	3.3%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年11月末現在>

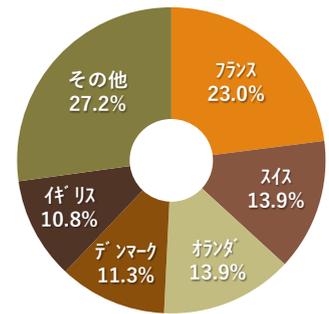
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



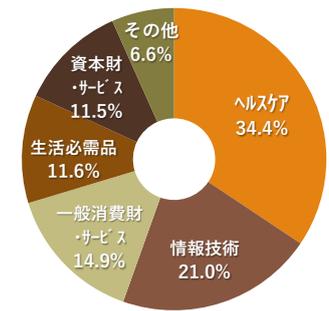
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	8.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	6.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSILORLUXOTTICA	6.3%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 LVMH	5.0%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
5 LINDE	4.6%	ドイツ	素材	産業ガス世界大手
6 ALCON	4.0%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
7 STRAUMANN HD	3.7%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
8 ACCENTURE	3.6%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
9 EXPERIAN	3.4%	ドイツ	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
10 DASSAULT SYSTEMES	2.9%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	48.4%	現金等	6.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



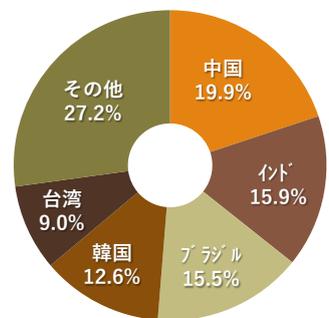
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年12月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



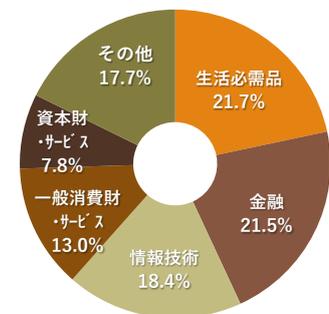
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 INNER MONGOLIA YILI	5.7%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
2 FOMENTO ECONOMICO	5.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
3 BB SEGURIDADE	5.3%	ブラジル	金融	保険大手
4 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.0%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
5 TSMC ADR	4.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 AIA	4.6%	香港	金融	生保・金融サービス
7 WEG	4.0%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
8 MARUTI SUZUKI	3.8%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
9 DELTA ELECTRONICS	3.7%	台湾	情報技術	電源、変圧器
10 POWER GRID OF INDIA	3.7%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
上位10銘柄	46.0%	現金等	4.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年12月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改定について

2022年12月24日にユニオンファンドの目論見書を改定いたしました。

【今回の主な改定箇所】

- 購入申込期間の更新
- 運用実績情報の更新

※ 新たな交付目論見書、請求目論見書は、弊社ホームページに掲載しています。

※ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。

「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

取引残高報告書について

今回、「2022年10月～12月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
（ 預 り 区 分 ）	評価金額	受取金額 [c]		
（ 決 算 日 ）	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2022年12月30日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

『つみたて投資をうまくやるコツ』セミナー開催

～投資が怖くなる時こそ知っておきたい～

最近よく目にする、投資信託の「長期・積立・分散投資」。「リスクを抑えて安心して投資ができる」というけど、本当なのだろうか？そんな疑問を持たれている方も多いと思います。

「インフレや老後資金のことを考えると投資を始めたいと思うけど、損をしそうで怖くて踏み出せない」とか、「つみたて投資を始めてみたものの、ここ1～2年の株価や為替の変動で利益が出たり損失になったりと、当初思い描いていた投資と違う」といった不安の声もよく聞きます。

そんな方々に、しっかりと資産を作るために必要な、長期つみたて投資の押さえどころ、考え方をご説明します。

日時	① 2023年2月18日(土) 10:00～11:30 ② 2023年3月15日(水) 18:30～20:00
会場	Zoomによるオンライン形式(無料)
定員	各100名(お申込み順)
講師	ユニオン投信(株) 運用責任者 久保田 徹郎、赤津 正
内容	・「値段が上がったのに利益が出ない？」投資で損をしてしまう理由。 ・「長期つみたて投資」は本当に資産を作れるの？ ・市況が厳しい時にやってはいけないこと。
申込方法	以下のリンクまたはQRコードよりお申し込みください。 ① 2月18日申込(申込締切:2月16日) ② 3月15日申込(申込締切:3月13日)   ご登録いただいたメールアドレスに、当日の参加URLが送信されます。 ※メールが届かない場合は、登録アドレスの誤入力や迷惑メール設定(@zoom.usから送信)の可能性がります。設定等をご確認の上、再度上記アドレスからご登録ください。
参加方法	当日は、登録完了案内のメールに記載された参加URLからログインしてください。 Zoomの使い方はこちらをご参照ください。 https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697

- ・このセミナーは、投資信託その他金融商品についての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。
- ・金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。
- ・金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

個人情報の利用目的 お申込みにあたり入力された個人情報につきましては、お申込みのセミナーに関するご案内およびお問い合わせへの対応ならびにこれらの管理のために利用します。また、弊社が提供する商品・サービスおよびセミナーに関する情報をお客様にご案内させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取扱い お客様の個人情報につきましては、漏えい等を防止するため、必要かつ適切な安全管理措置を実施いたします。その他、弊社における個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページに記載の「プライバシーポリシー」および「個人情報の利用目的」をご確認ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。